

TOTO

ゼロフィルターフード

製品の機能が十分に発揮されるように、この説明書および総合組立・設置説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

1) 安全上のご注意 (安全のために必ずお守りください。)

取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取り付けください。この説明書では製品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味	表示	意味
	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。		この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。
	してはけない「禁止」内容です。		必ず実行していただく「強制」内容です。

警告	
	修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしない 火災、感電や異常作動によるけがの原因となります。
	メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造建築物に金属製ダクトが貫通する場合、金属ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取り付け 火災、感電や異常作動によるけがの原因となります。
	レンジフード本体と排気ダクトは可燃物との間隔を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆う ※詳しくは所轄の消防署へお問い合わせください。
	自然排気型のストープを使用するときは、空気の取入口（給気口）により十分給気される配慮をする 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす可能性があります。
	D 種接地工事を行う 故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

警告	
	配線工事は「電気設備技術基準」や「内線規程」に従って安全・確実に行う 火災・感電の原因となります。
	アースを確実に取り付ける 故障や漏電のときに感電するおそれがあります。 アース接続が不完全な場合感電するおそれがあります。
	交流 100V 以外では使用しない 火災・感電の原因となります。
	浴室など湿気の多い場所では絶対に使わない (浴室換気扇をお使いください。) 感電や故障の原因となります。
	電源コードを束ねない 火災・感電の原因となります。

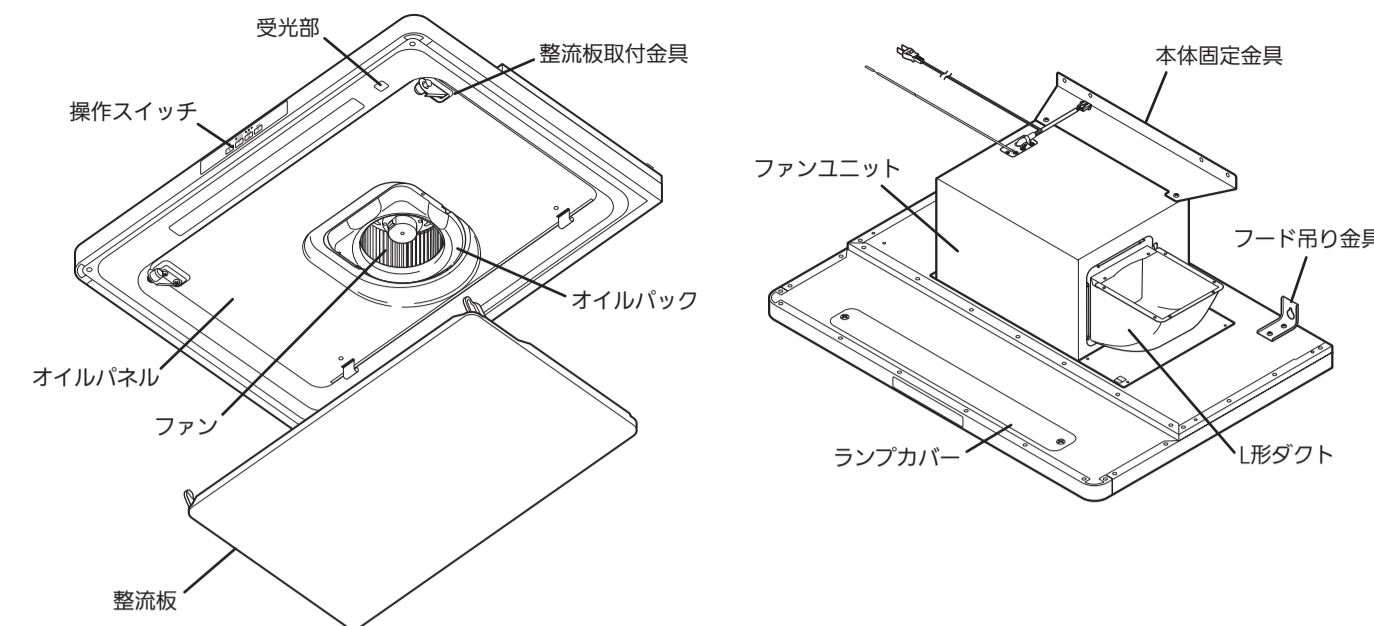
注意	
	ファンや部品の取り付けは確実に行う 落下により、けがをすることがあります。
	本体の取り付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う 落下により、けがをすることがあります。
	運転中はファンの中に指や物を入れない けがをする原因となることがあります。
	ダクトの接続は確実に行う 排気漏れの原因となります。

取り付け上のお願

下記は「建設工事」に区別され、関連する法令、規定に従って法的有資格者が行う必要があります。
 ・大工工事（設置のための地下工事等）
 ・配線工事（コンセントの設置、コンセント・コネクター利用以外の配線接続等）
 ・管工事（ダクト配管およびレンジフードからのダクト接続等）

流通業者（販売店）を通して組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別して行ってください。

2) 各部の名称



お願い

- ・本体および取り外した部品は、紛失・破損に注意してください。
- ・取り付け時に、工具などでキズをつけないように注意してください。

3) 付属品・別売関連部品

1 付属品

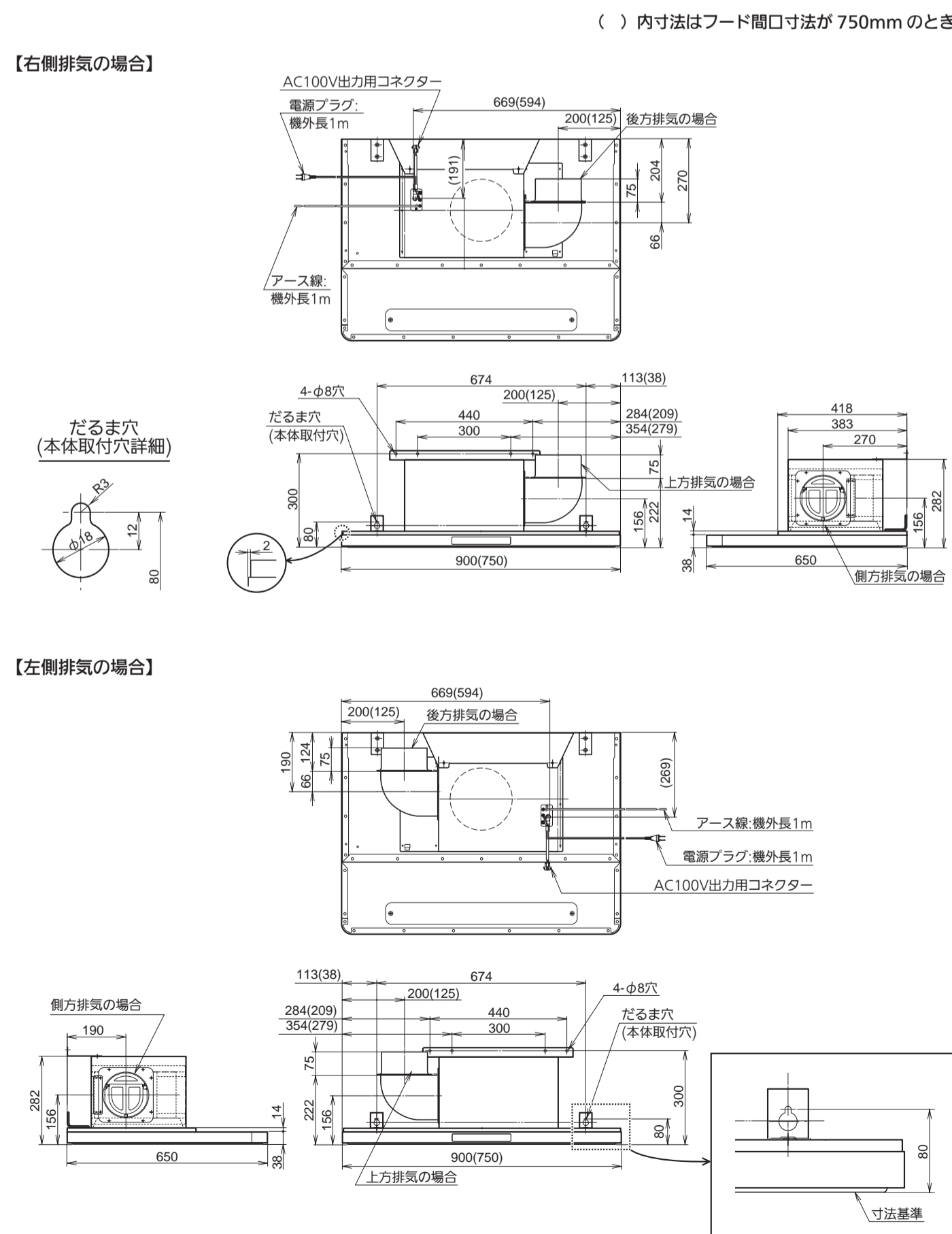
※不足しているものがないか、確認してください。

座付ねじ φ5.1×45 (4本)	段付ねじ 4×12 (4本)	L形ダクト (1個)	排気口 (1個)	ソフトテープ (1本)	取扱説明書 組立・設置説明書 (各1部)
-------------------------	----------------------	---------------	-------------	----------------	----------------------------

2 関連部品

幕板は別売部品となっています。幕板の取り付けはそれぞれ幕板付属の組立・設置説明書にしたがって取り付けください。同時給排ユニット、または電動ダンパ(運動線を使う場合はフードを取り付ける前に配線の接続が必要になりますので、あらかじめ用意してください。

4) 製品寸法図

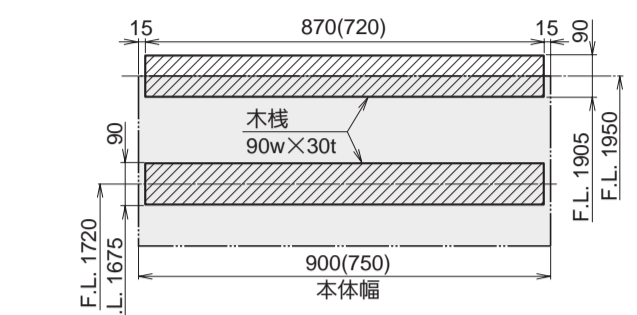


5) 取り付け前の確認

1 取り付け上のご注意

- 取付壁の underside は不燃材料で有効に仕上げてください。※詳しくは所轄の消防署へご確認ください。
- フード本体と排気ダクトは、可燃物との距離を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆う必要があります。※詳しくは所轄の消防署へご確認ください。
- 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効果を著しく低下させたり、騒音が大きくなりますので、使用しないでください。
- 製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。
- 電源は専用コンセントを設けてください。
- 製品の取り付けには手袋を着用してください。薄板の切り口などでけがをすることがあります。
- 電気配線工事は必ず有資格者が行ってください。
- コンセントは定格表示 125V・15A のアースターミナル・接地極付コンセントを使用してください。

2 取り付け木さん位置寸法 (建築工事)

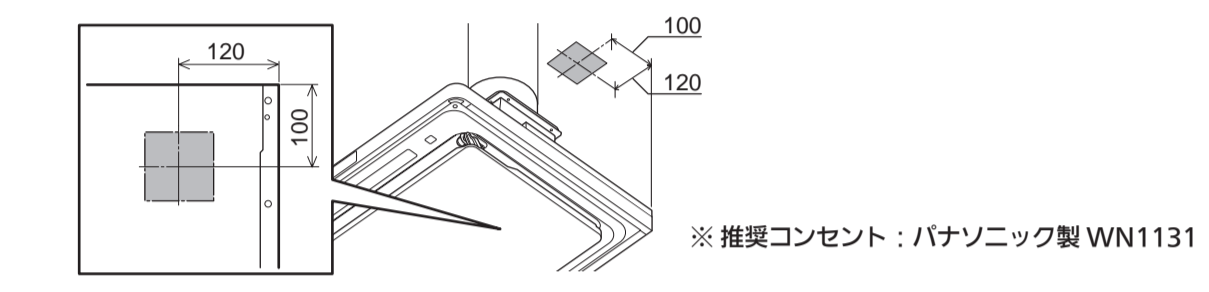


注意

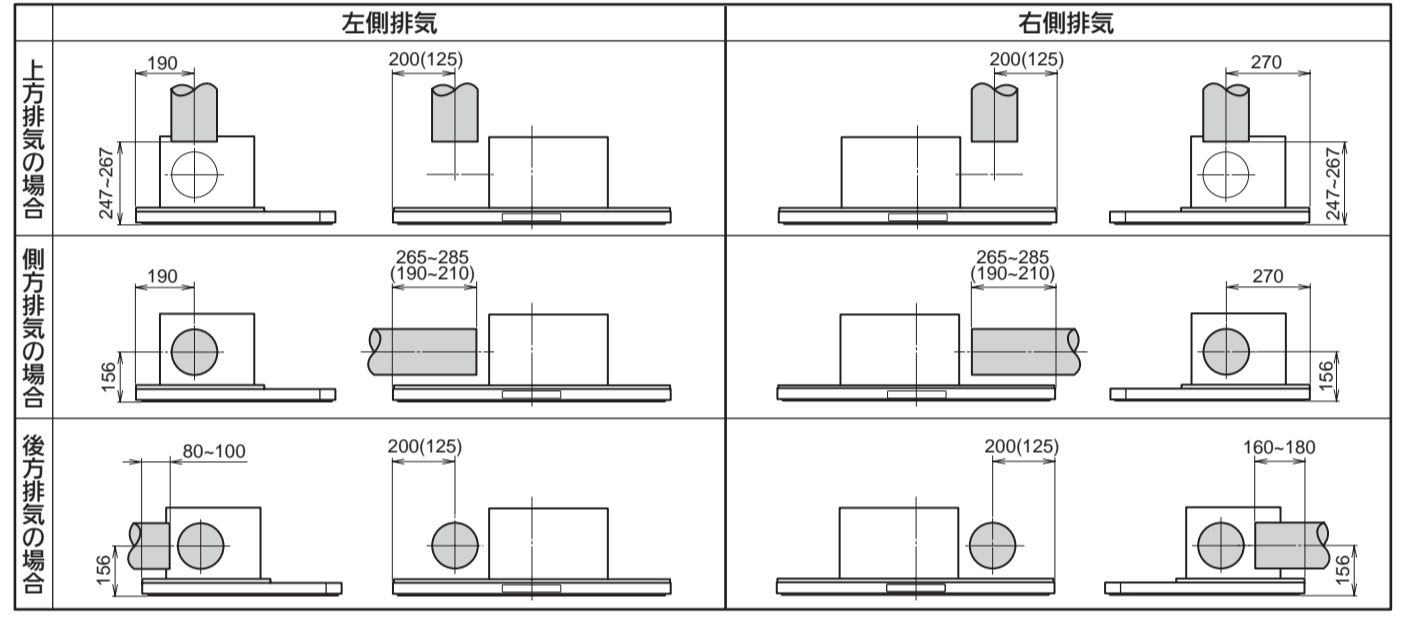
レンジフード本体の取り付けは、十分強度のある取り付け面または補強さん等に確実に行う
落下によるけがをすることがあります。壁材が薄く脆いと振動音が発生することがあります。

レンジフード取り付け面の木部に、取り付け用木ねじが確実に届いているかを確認する
落下により、けがをすることがあります。

3 電源コンセント位置

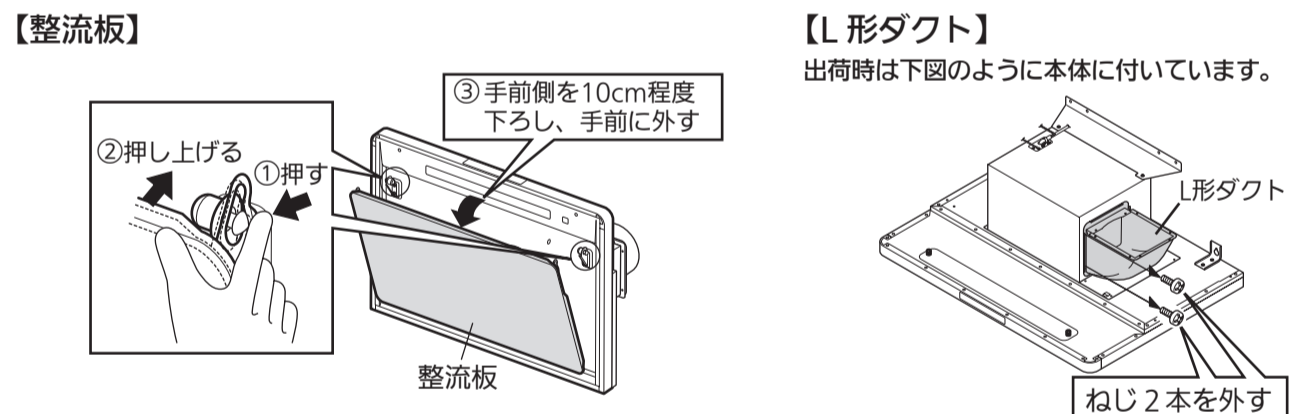


4 ダクト位置 () 内寸法はフード開口寸法が 750mm のとき



6) 部品の取り外し

フードを取り付ける際に部品に傷が付かないよう整流板を取り外してください。フードの設置完了後、外した部品を取り付けてください。



7) 取り付けかた

フードの右側でダクトと接続する場合

3 フードを壁に固定する
座付ねじを少し出しておく
約5mm

↓

引っ掛けて固定

↓

本体固定金具を座付ねじ2本で固定

1 排気口にソフトテープをまく

2 排気口 (L形ダクト) を取り付ける
金具に差し込んで手をねじ2本でとめてください。

排気口の開く向きに注意!

上方排気 側方排気 後方排気

L形ダクトは不要

4 ダクトの接続
ダクトを接続し、テーピング (アルミテープ) をしてください。

フードの左側でダクトと接続する場合

3 フードを壁に固定する
座付ねじを少し出しておく
約5mm

↓

引っ掛けて固定

↓

本体固定金具を座付ねじ2本で固定

1 排気口にソフトテープをまく

2 排気口 (L形ダクト) を取り付ける
金具に差し込んで手をねじ2本でとめてください。

排気口の開く向きに注意!

上方排気 側方排気 後方排気

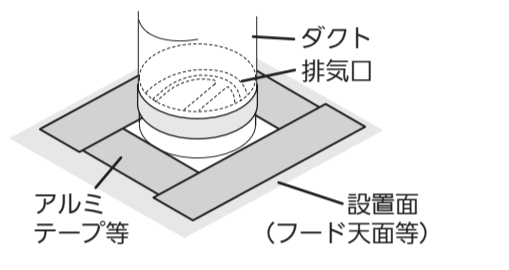
L形ダクトは不要

4 ダクトの接続
ダクトを接続し、テーピング (アルミテープ) をしてください。

お願い

排気口設置面の漏風確認

排気口とダクトを接続する際に、ダクトにレンジフードの排気口を無理に接続しようとすると、排気口および排気口設置面 (フード天面等) が変形し、排気漏れが発生してしまう場合があります。排気漏れ確認のため、ダクト接続後は試運転 (「強」運転) を行ってください。漏風する場合は排気口と設置面の周りをアルミテープ等で漏風防止処置を行ってください。

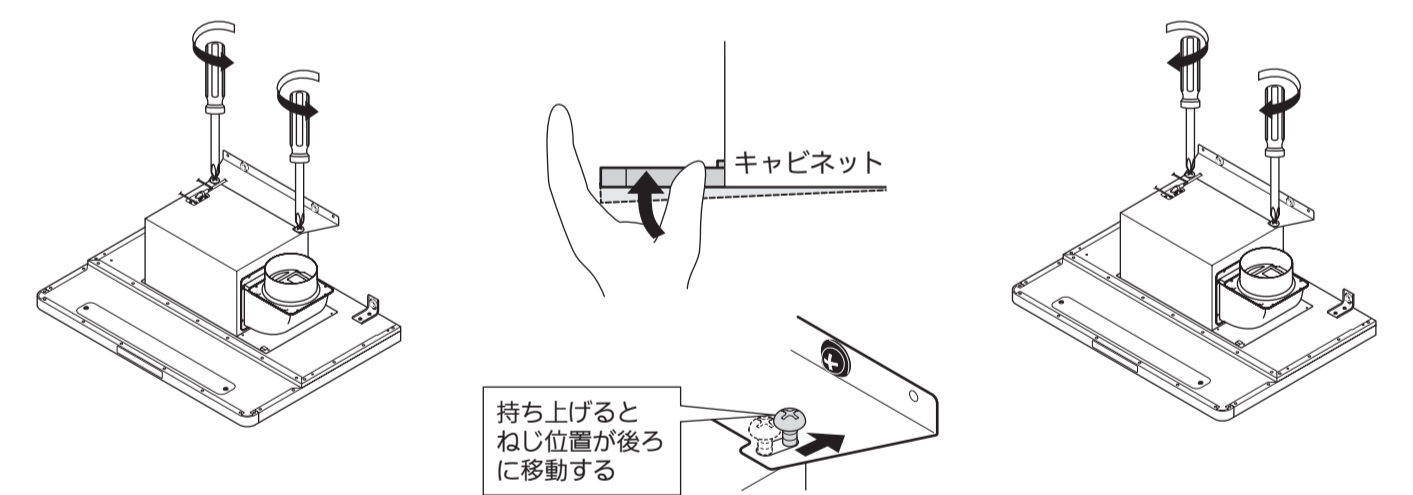


8) こんなときには

フードが垂れている場合

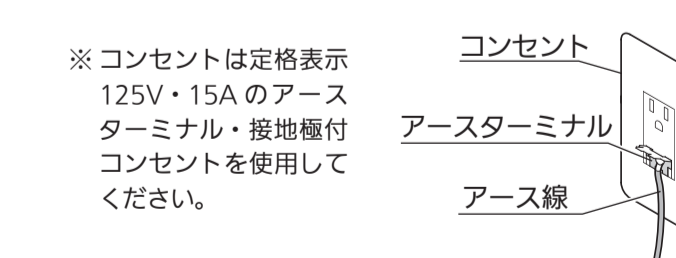
フードがキャビネットより垂れている場合は、下記の方法で矯正できます。

- 1 本体固定金具を止めているねじをゆるめる
- 2 フード前側を持ち上げ、キャビネット下端に合わせる
- 3 2の位置でねじを固定する



9) 電気配線

- 1 アース線をアースターミナルに接続します
※ ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。(法令で禁止されています。)
- 2 電圧が 100V であることを確認してからコンセントに電源プラグを差し込みます。



警告

アース線接続
アースを確実に取り付ける
故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
アース接続が不完全な場合感電するおそれがあります。

必ず守る
電源プラグは根元で確実に差し込む
差し込みが不完全だと感電や発熱による火災の原因となります。

禁止
電源コードを束ねない
火災・感電の原因となります。

10) 幕板の取り付け

幕板は別売品です。幕板に付属の組立・設置説明書に従って幕板を取り付けてください。

11) 試運転

- 各操作スイッチを押し、運転状態を確認してください。スイッチの操作と運転状態は取扱説明書をご確認ください。
- 運転時に各連関の排気が正しく行われていることを確認してください。
- 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
- 屋外の排気出口から排気されていることを確認してください。
- 取り付け、または組立・設置上発生した不具合で修理を依頼されますと、すべて有料となりますので十分確認してください。